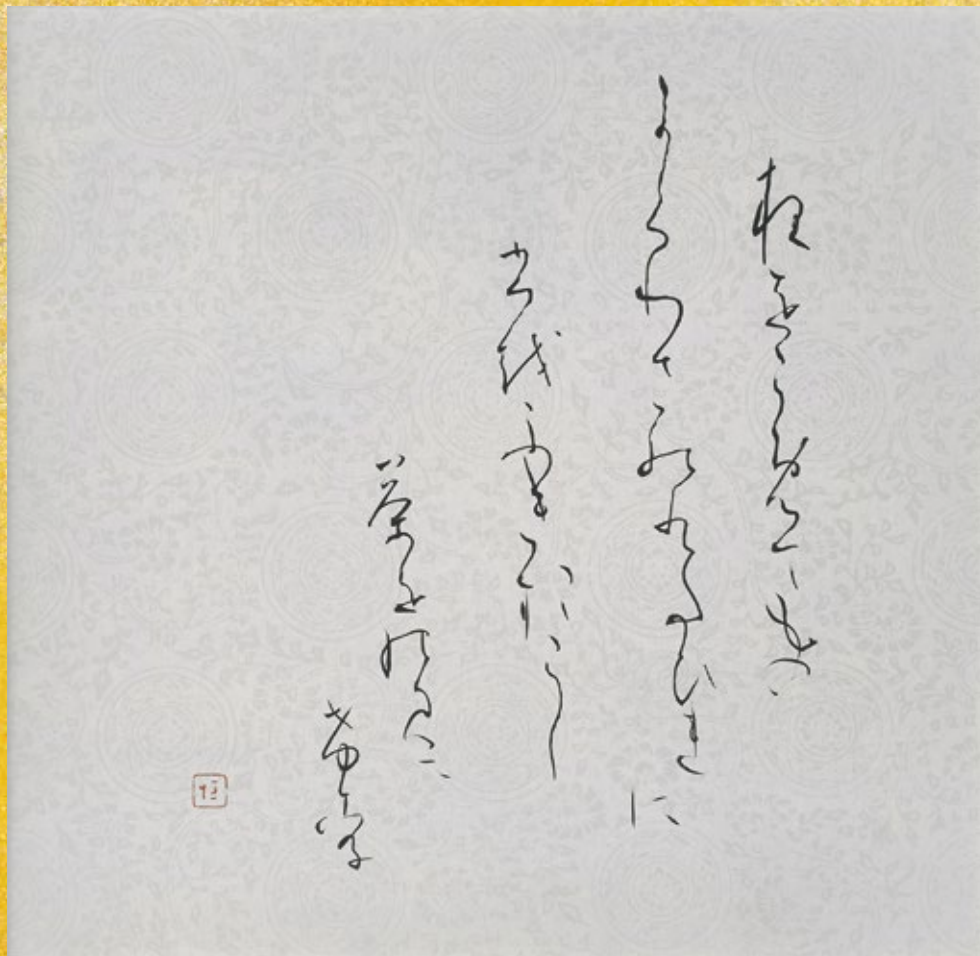


熊谷恒子記念館 かなの美展

# 熊谷恒子がたどる近代短歌 正岡子規や長塚節を通じて

夜をこめて 物のかくわざの くだびれに  
ひをふきおこし 茶をのみにけり



熊谷恒子《夜をこめて（正岡子規）》1981年、大田区立熊谷恒子記念館所蔵

2024年12月21日(土) ~ 2025年4月6日(日)

開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)

休館 毎週月曜日及び年末年始

※月曜祝日の場合はその翌日(1月13日(月・祝)、2月24日(月・祝))は開館し、1月14日(火) 2月25日(火)に休館

※年末年始のため、12月29日(日)~翌1月3日(金)に休館

入館料 一般100円、中学生以下50円

※65歳以上(要証明)と未就学児及び障がい者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料

【ギャラリートークのご案内】

開催日 1月25日(土)、2月22日(土)  
3月15日(土) 各日11:00及び13:00から  
展示室で実施します。(事前申込制)

※ギャラリートークの詳細は、当館ホームページまたは熊谷恒子記念館へお電話にてご確認ください。

大田区立熊谷恒子記念館

Kumagai Tsuneko Memorial Museum

〒143-0025 東京都大田区南馬込4-5-15

TEL・FAX: 03-3773-0123

<https://www.ota-bunka.or.jp/kumagai/>



大田区立熊谷恒子記念館  
公益財団法人大田区文化振興協会



# 熊谷恒子記念館 かなの美展

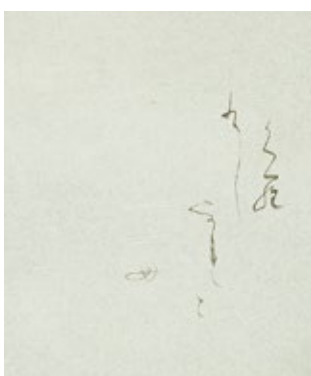
## 熊谷恒子がたどる近代短歌 正岡子規や長塚節を通じて

熊谷恒子記念館では、再開後二回目のかなの美展を開催します。本展では、書家・熊谷恒子（一八九三～一九八六）が近代短歌を追想したかな書を紹介します。近代短歌は、明治期に従来の和歌を見直すため、その革新に取り組まれたものです。正岡子規（一八六七～一九〇二）の短歌論は伊藤左千夫（一八六四～一九一三）や長塚節（一八七九～一九一五）ら近代歌人に影響を与えました。

戦後、書道展覧会が活発に開催されるようになり、新たな書表現が誕生しました。近代短歌を好んでいた恒子が制作した《秋の夜を》（一九五九年）は、伊藤らによって編集された正岡の遺稿『竹乃里歌』を題材としています。また、長塚が秋の黄昏を詠った短歌をもとにした《秋のそら》（一九六二年）や、伊藤が霜枯の垣根に咲く冬牡丹を詠んだ短歌を表現した《冬ぼたん》（一九六六年）などを発表し、恒子はかな書の発展に尽力しました。時代に沿って書の表現が変化する中、古典を尊重しつつ、近代短歌をたどりながら、優美なかな書を追究した恒子の作品をお楽しみください。



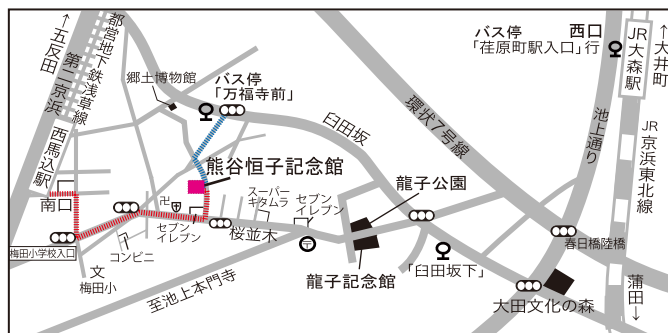
熊谷恒子《冬ぼたん（伊藤左千夫）》、1966年  
大田区立熊谷恒子記念館所蔵



熊谷恒子《秋のそら（長塚節）》、1962年  
大田区立熊谷恒子記念館所蔵

### 【交通のご案内】

- ・ JR 京浜東北線 大森駅西口から東急バス 4 番「荏原町駅入口」行乗車「万福寺前」、下車徒歩 5 分
- ・ 都営地下鉄浅草線 西馬込駅南口 南馬込桜並木通り（桜のプロムナード）に沿って徒歩 10 分



### Kumagai Tsuneko Memorial Museum

Information 4-5-15 Minami-Magome, Ota-ku, Tokyo, 143-0025  
TEL:03-3773-0123

Open Hours 9:00-16:30 (entrance closes at 16:00)  
Days closed Monday (When a national holiday falls on a Monday, the Museum will be open and close on the following day)  
Admission Adults: 100 yen, Minors: 50 yen  
・ Free admission for children under 6 and seniors over 65

### Access

- ・ JR Keihin-Tohoku Line Omori Sta. West Exit, take Tokyu Bus No.4 towards Ebara-machi Sta. Entrance Bus Stop, get off at Manpukuji-mae, 5 minutes on foot
- ・ Toei Subway Asakusa Line Nishi-Magome Sta. South Exit, 10 minutes on foot

### 【関連イベント】

#### ◆ 第 3 回記念館講座

「熊谷恒子と二人の師 尾上柴舟・岡山高蔭」  
書家・熊谷恒子は、尾上柴舟と岡山高蔭に師事しました。柴舟と高蔭に出会い、かな書家として活躍した恒子の書業を解説します。

開催日時：2025年2月15日（土）  
14：00～15：30

会場：大田文化の森 多目的室  
（大田区中央 2-10-1）

参加費：無料

定員：50名（定員を超えた場合は、抽選）

締切：2025年1月31日（金）必着

申込方法：往復はがきまたは FAX に郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、希望人数（2名様まで）、講座名を明記のうえ、下記お問合せ先へお送りください。

※返信用はがきには、代表の方の住所と氏名をご記入ください。

※FAXの方は、返信可能な FAX 番号でお申込みください。

※詳細は、大田区報、情報誌アートメニュー、当館ホームページ等に掲載します。

## 大田区立熊谷恒子記念館

〒143-0025 東京都大田区南馬込4-5-15

TEL・FAX：03-3773-0123

<https://www.ota-bunka.or.jp/kumagai/>

